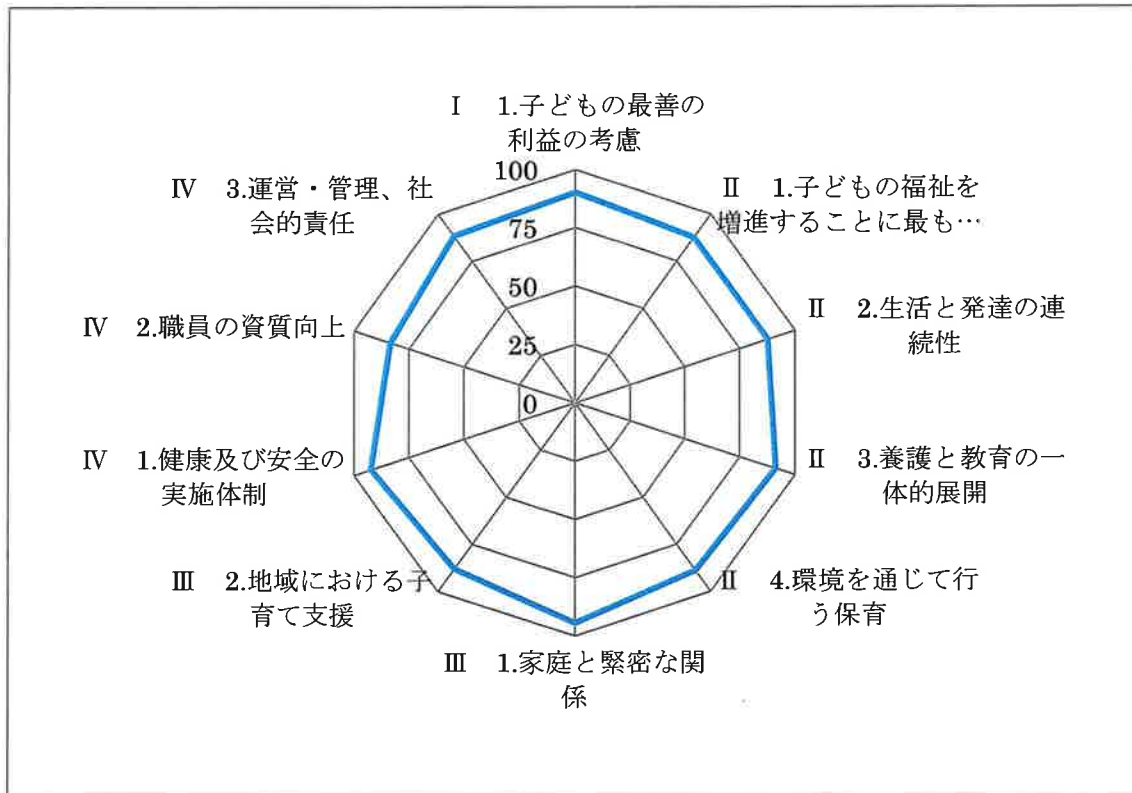


令和6年度 聖母の園保育園 保育所の自己評価結果



* 令和6年度の取り組み状況

<努力した点>

- 夏期に戸外活動（プールや水遊び）を行う際は、熱中症警戒アラートの発令を確認し熱中症指数計（今年度購入）で計測したうえで、活動内容や活動時間を決めるようにしていった。
- プライバシー保護、防犯のために保育室前フェンスと2階テラスのフェンスに目隠しネットを設置した。乳児クラスには、トイレ前の着脱場所に目隠しボードを設置した。
- 年に2回行っているクラス懇談会の開催を、土曜日だけでなく平日の夕方に行い、保護者の皆様ができるだけ多く参加していただけるようにした。
- 幼児クラスの保育参観では給食の試食を再開し、お子様の食べている給食を体験していただくことができた。試食後のアンケートでは、ご家庭での食事の様子や嗜好状況を知ることもできた。
- 保護者の準備物負担軽減のため、おむつ・おしりふきのサブスク（おむつん）を導入した。同時期に、食사용エプロンと手口拭きも園で準備した。
- コドモンの連絡帳、保育ドキュメンテーションを活用し、子どもたちの日常の姿を写真でお伝えできるようになった。

<改善点・課題>

- 自然環境に恵まれているが、聖母の園の敷地外への散歩の機会が少ないので、年齢に応じた活動として散歩の機会を増やしていくようにする。
- 職員の資質向上のための園内研修や全体周知など、一斉に行うことができないので研修の方法や形態を工夫し、職員の共通理解が深められるようにしていく。
- 子育て支援の事前申し込みや参加人数制限を一部なくして、地域や外部の子育て家庭が利用しやすい雰囲気を作っていく。